

5 科目履修表・授業計画 (シラバス)

(1) 1年次生 (令和5年度入学生適用)

①科目履修表

令和5年度 1年次生 (令和5年度入学) 科目履修表 (本科・単位制)

単位: 時間・単位数

区分	1年次生 (令和5年度)								2年次生 (令和6年度開講予定)							
	前期				後期				前期				後期			
	科目名	時間	単位	履修方法	科目名	時間	単位	履修方法	科目名	時間	単位	履修方法	科目名	時間	単位	履修方法
教養	英語 I (英会話)	30	2.0	講義・演習	小論文	30	2.0	講義・演習	キャリア形成	8	0.5	講義・演習				
	進学英語 I			講義	英語 II (英会話)	30	2.0	講義・演習	ビジネスマナー	12	0.5	講義				
	生物 (進学)	(30)	(2.0)	講義	進学英語 II			講義	就職対策	14	0.5	講義・演習				
	基礎計算 (補講)	(16)	(一)	講義・演習	農村社会と文化	30	2.0	講義								
					化学			講義								
	体育 (野球、卓球、バレーボール、バドミントン)					30	1.0	実技	体育 (野球、卓球、バレーボール、バドミントン)					28	0.5	実技
	特別講義					29	1.5	講義・演習	特別講義					23	1.5	講義・演習
	集団活動 (必須)					90	3.0	実習	集団活動 (必須)					68	2.0	実習
	教養科目計 (補講、生物含めず)					269	13.5		教養科目計					153	5.5	
	栽培 飼養 管理	農業基礎	30	2.0	講義	畜産	30	2.0	講義	果樹栽培各論	30	2.0	講義	植物防疫学	30	2.0
作物		30	2.0	講義				野菜栽培各論	講義	農業気象学			16	1.0	講義	
果樹園芸		30	2.0	講義				花き栽培各論	講義	高度技術演習			16	1.0	演習	
野菜園芸		30	2.0	講義				家畜飼養衛生	講義							
花き園芸		30	2.0	講義				特産物生産	16	1.0	講義					
実用計算		16	1.0	講義・演習	卒論演習 I	16	1.0	演習	植物生理学	30	2.0	講義				
基礎演習 (農学実験)						20	1.0	演習	卒論演習 II					30	2.0	演習
基礎演習 (農業簿記)						20	1.0	演習								
基礎演習 (情報処理)						20	1.0	講義・演習								
基礎演習 (作業演習)						20	1.0	演習								
農業・食品加工基礎実習	76	2.5	実習													
食品 流通	食品栄養学	30	2.0	講義	食品機能学	16	1.0	講義	食の安全・安心	16	1.0	講義				
					農産物・食品流通特論	16	1.0	講義	マーケティング論	16	1.0	講義				
経営					6次産業化概論	16	1.0	講義	経営戦略論	16	1.0	講義	農業経営と組織論	30	2.0	講義
					地域農業	16	1.0	講義	環境と農業	30	2.0	講義	地域経済論	16	1.0	講義
社会 経済													農業政策	30	2.0	講義
	専門 (共通) 科目計					462	26.5		専門 (共通) 科目計					322	21.0	
選択 ／ 農業 生産	農業機械学	16	1.0	講義	スマート農業	16	1.0	講義・演習	土壌肥科学	16	1.0	講義	卒業論文 (必須)	150	10.0	演習
					ドローン講習	32	2.0	講義・演習	GAP演習	16	1.0	講義・演習				
					農業体験学習 (必須)	72	2.0	実習	農業体験学習 (必須)	72	2.0	実習	農業巡見	16	1.0	演習
	コース実習 I (必須)	114	3.5	実習	コース実習 II (必須)	330	11.0	実習	コース実習 III (必須)	262	8.5	実習	コース実習 IV (必須)	268	8.5	実習
	選択 (農業生産技術コース) 科目計					580	20.5		選択 (農業生産技術コース) 科目計					800	32.0	
選択 ／ 6次 産業	デザイン基礎	16	1.0	講義・演習	食品加工保蔵学	16	1.0	講義	園芸福祉	16	1.0	演習	卒業論文 (必須)	150	10.0	演習
	食品加工演習	16	1.0	演習	食品衛生学	30	2.0	講義・実験	HACCP演習	16	1.0	講義・演習				
									新ビジネス創造	16	1.0	講義・演習				
									食品産業特別講義	16	1.0	講義・演習				
						6次産業体験学習 (必須)	72	2.0	実習	6次産業体験学習 (必須)	72	2.0	実習	6次産業巡見	16	1.0
コース実習 I (必須)	98	3.0	実習	コース実習 II (必須)	330	11.0	実習	コース実習 III (必須)	230	7.5	実習	コース実習 IV (必須)	268	8.5	実習	
選択 (6次産業ビジネスコース) 科目計					578	21.0		選択 (6次産業ビジネスコース) 科目計					800	33.0		
指定 科目	造園技術・造園技能	(32)	一	演習	危険物取扱者	16	1.0	演習	造園技術・造園技能	(32)	一	演習	危険物取扱者	16	1.0	演習
	家畜人工授精師	140	9.0	講義・実習	毒物劇物取扱者	16	1.0	演習	家畜人工授精師	140	9.0	講義・実習	毒物劇物取扱者	16	1.0	演習
	家畜商	16	1.0	講義	農業技術の基礎	16	1.0	講義	家畜商	16	1.0	講義	農業技術の基礎	16	1.0	講義
	英語試験対策講座	16	1.0	演習	農業機械実習	(32)	(一)	実習	英語試験対策講座	16	1.0	演習	農業機械実習	(32)	(一)	実習
	パソコン検定対策講座	16	1.0	演習	フォークリフト実習	(48)	(一)	実習	パソコン検定対策講座	16	1.0	演習	フォークリフト実習	(48)	(一)	実習
					土壌医検定対策講座	16	1.0	講義					土壌医検定対策講座	16	1.0	講義
					狩猟免許対策講座	(8)	(一)	講義					狩猟免許対策講座	(8)	(一)	講義
	農業生産技術コース	共通・選択科目計 (指定科目含めず)				1,311	60.5		農業生産技術コース	共通・選択科目計 (指定科目含めず)				1,275	58.5	
6次産業ビジネスコース	共通・選択科目計 (指定科目含めず)				1,309	61.0		6次産業ビジネスコース	共通・選択科目計 (指定科目含めず)				1,275	59.5		

※科目内容・時間については変更する場合があります。

2年間履修時間・単位数	2,586	119.0	実習時間割合%	生産	46.2
	2,584	120.5		6次	44.3

※単位は、講義・演習は15時間を1単位、実習・実技は30時間を1単位とし、0.5単位で端数を切り捨て換算。

②授業計画（シラバス）

目次

教養教科

英語Ⅰ	1年前期	・・・	14
英語Ⅱ	1年後期	・・・	14
進学英語Ⅰ	1年前期	・・・	14
進学英語Ⅱ	1年後期	・・・	14
生物（進学）	1年前期	・・・	14
化学	1年後期	・・・	15
農村社会と文化	1年後期	・・・	15
小論文	1年後期	・・・	15
基礎計算（補講）	1年前期	・・・	15
体育	1年全期	・・・	15
特別講義	1年全期	・・・	15
集団活動	1年全期	・・・	16

専門教科（栽培・飼養管理）

農業基礎	1年前期	・・・	16
作物	1年前期	・・・	16
果樹園芸	1年前期	・・・	16
野菜園芸	1年前期	・・・	17
花き園芸	1年前期	・・・	17
畜産	1年後期	・・・	17
実用計算	1年前期	・・・	17
基礎演習（農学実験）	1年全期	・・・	17
基礎演習（農業簿記）	1年全期	・・・	18
基礎演習（情報処理）	1年全期	・・・	18
基礎演習（作業演習）	1年全期	・・・	18
農業・食品加工基礎実習	1年前期	・・・	18
卒論演習Ⅰ	1年後期	・・・	18

専門教科（食品・流通）

食品栄養学	1年前期	・・・	18
食品機能学	1年後期	・・・	18
農産物・食品流通特論	1年後期	・・・	19

専門教科（経営）

6次産業化概論	1年後期	・・・	19
---------	------	-----	----

専門教科（社会・経済）

地域農業	1年後期	・・・	19
------	------	-----	----

専門教科（農業生産技術コース選択）

農業機械学	1年前期	・・・	19
スマート農業	1年後期	・・・	19
ドローン講習	1年後期	・・・	20
農業体験学習	1年後期	・・・	20
コース実習Ⅰ	1年前期	・・・	20
コース実習Ⅱ	1年後期	・・・	20

専門教科（6次産業ビジネスコース選択）

デザイン基礎	1年前期	・・・	20
食品加工保蔵学	1年後期	・・・	20
食品衛生学	1年後期	・・・	21
食品加工演習	1年前期	・・・	21
6次産業体験学習	1年後期	・・・	21
コース実習Ⅰ	1年前期	・・・	21
コース実習Ⅱ	1年後期	・・・	21

教養教科

時期	科目名	学習のねらい	授業計画	担当教官 (補助教官)	時間 単位	履修 方法	評価方法	教材
1年 前期	英語Ⅰ ※進学英語Ⅰとの選択	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、外国や我が国の生活や文化についての理解を深めるとともに、言語や文化に対する関心を高め、これらを尊重する態度を育てる。	①Meeting People ②Talking about the Kitchen [1] ③Talking about the Kitchen [2] ④Likes and Dislikes ⑤Ordering Food: What Do We Need? ⑥At a Restaurant ⑦Cooking ⑧Recipes	喜多 佳代子	3 0 2.0	講義 演習	期末試験 小テスト 課題、プレゼンテーション 授業態度 出席状況	Speaking of Nutrition (南雲堂)
1年 後期	英語Ⅱ ※進学英語Ⅱとの選択	英語検定、派欧・米研修等各自の目標に向かって応用力をつける。また、身近なトピックを読むことにより、興味を持ちながら読解力を身につける。	①Giving Dietary Advice ②Talking about Diets ③Researching Diet Information ④Life as a Dietitian ⑤Talking about Diets ⑥People with Special Dietary Needs ⑦Talking about Experiences	喜多 佳代子	3 0 2.0	講義 演習	期末試験 小テスト 課題、プレゼンテーション 学習態度 出席状況	Speaking of Nutrition (南雲堂)
1年 前期	進学英語Ⅰ ※英語Ⅰとの選択	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、人間、社会、自然などについての考えを深めるとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養う。	①Itを含む構文 ②不定詞を含む構文 ③動名詞を含む構文 ④分詞を含む構文 ⑤復習1 ⑥関係詞を含む構文 ⑦復習2 ⑧否定語を含む構文 ⑨条件構文 ⑩復習3 ⑪接続詞を含む構文 ⑫比較構文 ⑬復習4 ⑭その他の構文 ⑮復習5	斉藤 洋一郎	3 0 2.0	講義	期末試験 小テスト 課題、プレゼンテーション 授業態度 出席状況	プリント等
1年 後期	進学英語Ⅱ ※英語Ⅱとの選択	英語を通じて、人間、社会、自然などについての考えを深めるとともに、文章中の情報や考えなどを的確に理解したり、英語で適切に伝えたりする能力を養う。	①Unit 1: Health ②Unit 2: Culture ③Unit 3: History ④Unit 4: Biography ⑤Unit 5: Literature ⑥Unit 6: Tourism ⑦Unit 7: Social Problems ⑧Unit 8: Sociology ⑨Unit 9: Animals ⑩Unit 10: Art ⑪Unit 11: Food ⑫Unit 12: Science/Technology ⑬Unit 13: Language ⑭Unit 14: Psychology ⑮Unit 15: Curling Stones	斉藤 洋一郎	3 0 2.0	講義	期末試験 小テスト 課題 積極性 出席状況	Active Training for Reading& Writing Through 15Topics (鶴見書店)
1年 前期	生物 (進学) ※選択	生物の形態的・生理的共通性と、生態系における種の多様性について学び、生物の世界に対する理解を深める。	①細胞と分子(1) ②細胞と分子(2) ③細胞と分子(3) ④細胞と分子(4) ⑤代謝(1) ⑥代謝(2) ⑦代謝(3) ⑧遺伝情報の発現(1) ⑨遺伝情報の発現(2) ⑩遺伝情報の発現(3) ⑪生殖と発生(1) ⑫生殖と発生(2) ⑬生物の環境応答 ⑭生態と環境 ⑮生物の進化と系統	徳永 晴美	(30) (2.0)	講義	期末試験 小テスト レポート 出席状況	「生物」(生物基礎・生物) (数研出版) プリント

1年 後期	化学 ※農村社会 と文化との 選択	無機化学・有機 化学・生化学等の 基礎的・基本的な 知識の確実な定着 を図るとともに、探 求の精神を養う。	①基礎知識の確認 ②無機化学の基礎(1) ③無機化学の基礎(2) ④無機化学の基礎(3) ⑤無機化学の基礎(4) ⑥有機化学の基礎(1) ⑦有機化学の基礎(2) ⑧有機化学の基礎(3) ⑨有機化学の基礎(4) ⑩有機化学の基礎(5) ⑪生化学の基礎(1) ⑫生化学の基礎(2) ⑬生化学の基礎(3) ⑭自然化学入門 ⑮化学のまとめ	仁木 留見	3 0 2. 0	講義	期末試験 ノート提 出	「チャー ト式新化 学」(化 学基礎・ 化学) (数研出 版)
1年 後期	農村社会と 文化 ※化学との 選択	食と生活や農業 ・農村をめぐる問 題、食と農の結び つきを学ぶことよ び、農業および 農村社会を取り巻 く実情や今後の方 向について理解を 深める。	①日本の食生活を理解する ②食の安全と安心を考える ③人口と食料について考える ④日本農業の軌跡と現実について 理解する ⑤農産物貿易と食・農問題につ いて考える ⑥農業の担い手について考える ⑦農産物の流通について考える ⑧食と農、生産者と消費者の結 びつきについて考える ⑨食育について考える	徳永 忠士	3 0 2. 0	講義	期末試験 小テスト 学習態度	関係資料 プリント
1年 後期	小論文	卒業論文の作成 時、あるいは就職 試験・編入学試験 等が必要となる、 小論文を書く力及 び国語力を身に付 ける。	①正しく意図を伝える言葉の確認 ②文法(口語・文語)の理解 ③文章表現、原稿用紙の使い方 ④文章上達のコツ ⑤分かりやすい文を書くために (1) 特訓など ⑥分かりやすい文を書くために (2) 語順など ⑦分かりやすい文を書くために (3) 助詞の使い方など ⑧文章を書く技術: よいパラグラ フを書くために ⑨文章を書く技術: よりよい文章 を書くためのテクニック ⑩小論文作成の方法: アウトライ ンの構成 ⑪小論文作成の方法: 推敲の方法 ⑫小論文作成① ⑬小論文作成② ⑭熟語、同訓異字、同音異義語を 学ぶ ⑮手紙、履歴書の書き方、まとめ	牧野 久美子	3 0 2. 0	講義 演習	小テスト 学習態度 出席状況 提出物	プリント 等
1年 前期	基礎計算 ※補講	農作業等に必要 な基礎的計算方法 を習得する。	①農業全般に必要な基礎的計算 ②農産加工に必要な基礎的計算	片山 環奈	(16) (一)	講義 演習	学習態度 出席率 確認試験	プリント
1年 前・ 後期	体育 ※野球 卓球 バレーボール バドミントン から選択	チームワークの 楽しさを味わいな がら、スポーツ競 技の技術を習得す るとともに、心身 の鍛錬に資する。	(野球) ①個人的技能の向上 ②集団的技能の向上 ③ルール・審判法について (卓球) ①基本動作と多球練習(反復練習) ②日本卓球協会の正式ルール ③競技 ④応用練習 (バレーボール、バドミントン) ①ルール説明 ②基礎練習 ③競技	岩野 哲治 近藤 修司 岡田 和行 久次米 慶二	3 0 1. 0	実技	学習態度 出席率	
1年 前・ 後期	特別講義	他の講義に属さ ず、短期間で習得 できる内容につい て、集中的に1～	①農業青年のつどい ②伝え方講座 ③ハローワーク研修 ④農業法人との交流会・就農相談	各担当	2 9 1. 5	講義 演習	学習態度 出席率	テキスト 関係資料

		2回の講義で学ぶ。	会 ⑤農業法人説明会 ⑥農業法人バスツアー ⑦人権研修 ⑧交通講話 ⑨避難訓練 ⑩その他					
1年前・後期	集団活動	学生自治会主催の行事その他を学習の一環と位置づけ、集団の一員としての自主的、実践的な態度を育てる。	①自治会総会、新入生歓迎会 ②四国農学連スポーツ大会 ③農大祭 ④剣山登山 ⑤その他自治会活動 ⑥その他	各行事担当	9.0 3.0	実習	出席状況 学習態度	関係資料

専門教科（栽培・飼養管理）

時期	科目名	学習のねらい	授業計画	担当教官 (補助教官)	時間 単位	履修 方法	評価方法	教材
1年前期	農業基礎	農業と私たちの暮らしとの関わりについて学ぶとともに、農業技術の基礎を学び、農業機械や土壌肥料、施設園芸等の高度・専門的な技術習得へ発展させる基礎とする。	(農業基礎分野) ①私たちの暮らしと農業 動植物の生き方と栽培・飼育 ②栽培・飼育のしくみと技術 動植物共通の性質と栽培・飼育 ③栽培のしくみと技術 主な栽培技術と作業のねらい、栽培植物種類と管理 ④作物の生育と栽培環境 ⑤有害生物の総合的な管理 ⑥気象的要素の利用と気象災害の防止・環境保全型農業 ⑦わが国と世界の食糧、農業 (農業機械基礎) ①人間世界と農業 ②農業機械化 ③農業機械の安全な使用 ④トラクタの構造と操作 (土壌肥料基礎) ①土壌とその役割 ②土壌の種類とその特性 ③土壌の診断と改善 ④施肥の役割と肥料 ⑤施肥の設計と改善 ⑥作物生育と土壌の化学性、物理性、生物性	服部 弘明 佐藤 泰三 板東 成治	3.0 2.0	講義	期末試験 小テスト 学習態度	新版：農業の基礎 (農文教) 新版：農業機械の構造と利用 (農文教) プリント 関係資料
1年前期	作物	水稻の品種、栽培管理法、米の活用および麦類・大豆の品種、栽培管理概要について理解するとともに、本県の実情を把握する。	①作物の特徴と種類 ②稲作と米の生産 ③水稻品種について ④水稻栽培(育苗) ⑤水稻栽培(本田の準備) ⑥水稻栽培(本田の管理 水管理) ⑦水稻栽培(病虫害防除、雑草防除) ⑧水稻栽培(収穫、調製) ⑨水稻栽培(米の品質規格と貯蔵) ⑩稲作経営と米流通 ⑪米をめぐる状況(1) ⑫米をめぐる状況(2) ⑬麦類の栽培と流通利用(1) ⑭麦類の栽培と流通利用(2) ⑮大豆の栽培と流通利用	広田 年信	3.0 2.0	講義	期末試験 学習態度 出席状況	新版：作物栽培の基礎 (農文教) プリント
1年前期	果樹園芸	果樹に関する基本的な知識や栽培管理について知る。	①果実の利用と果樹栽培 ②食生活と果実の利用 ③果実の生産と消費 ④果樹の成長と果実生産 ⑤成長の特徴と果実生産 ⑥花・果実のしくみと発育 ⑦葉の成長とはたらき ⑧芽の種類と花芽分化、結果習性	乾 千紘	3.0 2.0	講義	期末試験 小テスト 学習態度	新版：果樹栽培の基礎 (農文協) プリント

			根の成長とはたらき ⑨果樹栽培の適地 ⑩年間の管理と良果多収の基本 ⑪枝の成長と整枝・せん定 ⑫基本になる栽培管理技術 ⑬土壌管理とかん水・施肥 ⑭苗木の生産と果樹園の開設・整備 ⑮施設栽培・高品質果栽培、貯蔵・加工の基礎					
1年前期	野菜園芸	野菜に関する基本的な知識や栽培管理、園芸技術について知る。	①野菜の栽培と利用 ②いろいろな野菜とその特徴 ③食生活と野菜の役割 ④生産・消費の推移と動向 ⑤種子と発芽 ⑥根の発達と肥大 ⑦茎葉の生育と結球 ⑧花芽の分化・発達と果実の肥大 ⑨休眠と休眠打破 ⑩野菜の品質とその管理 ⑪野菜の健全な生育と環境 ⑫土壌管理と施肥 ⑬有害生物(病害虫、雑草)の管理 ⑭果菜類の育苗 ⑮葉茎菜類の育苗、セル成形苗	小川 純一	30 2.0	講義	期末試験 小テスト 学習態度	新版：野菜栽培の基礎(農文教)プリント
1年前期	花き園芸	花き生産の基礎となる生育・開花生理並びに基礎栽培技術・新栽培技術を習得するとともに、花き経営、花きを巡る情勢等も理解する。	①花き園芸とは、生活と花き、花きの分類 ②花きの形態と観賞性、花きの成長と環境 ③花きの一生と成長・開花 ④開花調節の技術 ⑤成長と草姿の調節 ⑥花きの繁殖方法 ⑦花き生産の現状 ⑧花きの育種 ⑨品種登録と権利の保護・利用 ⑩花きの採種および種苗生産 ⑪土の性質と花きの施肥 ⑫花き用施設の種類・構造と利用 ⑬花きの品質と品質保持 ⑭花きの流通と販売 ⑮花きの経営	富加見 正樹	30 2.0	講義	期末試験 小テスト 学習態度	新版：草花栽培の基礎(農文協)プリント
1年後期	畜産	畜産物を生産するための基本的な技術と本県における生産動向や畜産の最新技術情報について学ぶ。	①畜産の役割と動向 ②家畜の生理・生態と特徴 ③家畜の飼育環境と生体制御 ④家畜の繁殖・育種とバイオテクノロジーの活用 ⑤家畜の衛生と疾病、農場HACCP ⑥徳島県の畜産と環境保全型農業への取り組み ⑦鶏の栄養と飼料 ⑧育雛と採卵鶏・肉用鶏の生理、飼育技術 ⑨飼料作物の特徴と利用、調整・貯蔵 ⑩豚の栄養と飼料 ⑪豚の生理と飼育技術 ⑫乳牛の栄養と飼料 ⑬泌乳生理と乳牛の飼育技術 ⑭肉牛の栄養と飼料 ⑮産肉生理と肉牛の飼育技術	北田 紫 井上 眞一	30 2.0	講義	期末試験 小テスト 学習態度	家畜飼育の基礎(農文教)阿波の畜産(徳島県)プリントパワーポイント
1年前期	実用計算	栽培技術や経営技術に必要な各種計算方法を学習し栽培管理や経営分析に活用する。	①農作物栽培管理に必要な単位と計算方法 ②栽培に必要な基本的な計算 ③経営に必要な基本的な計算	赤井 昭雄	16 1.0	講義 演習	学習態度 出席状況	プリント 関係資料
1年前・後期	基礎演習(農学実験)	果実分析や各種観察等の演習を通して、農学の基礎能力の向上をめざす。バイオテクノロジーの基本的な作業管理を学ぶ。	①植物の形態観察(植物の構造理解と実体顕微鏡の操作習得) ②植物組織の顕微鏡観察 ③動物組織の観察 ④植物病害虫の採集とルーペ及び顕微鏡による観察 ⑤果実分析(糖度・酸度測定)	北田 紫 中野 理子 乾 千紘 貞野 光弘 服部 弘明	20 1.0	演習	学習態度 提出物 出席率	資料、組織標本等

			⑥植物バイオテクノロジーの実際					
1年前・後期	基礎演習 (農業簿記)	農業経営と家計分の記帳の分離により、農業経営の現状と将来の経営計画のために農業簿記を学習する。	①農業簿記の基礎－資産・負債・資本、収益と費用 ②開始仕訳・記帳－期首貸借対照表作成、開始仕訳と元帳転記 ③取引の仕訳－仕訳けの実務 ④元帳転記－元帳転記の実務 ⑤合計残高試算表－合計残高試算表の作成実務 ⑥決算	原田 正治	20 1.0	演習	小テスト 学習態度 出席率	資料（農業簿記の基礎と例題）
1年前・後期	基礎演習 (情報処理)	パソコンのビジネスソフトである表計算・文章作成・プレゼンテーションの基本的スキルを習得する。 インターネットでの検索・情報収集の方法を学ぶ。	①表計算ソフト(エクセルの基本) 四則計算・数式・関数の使い方、書式の設定方法 ②グラフの作成、データベースの利用方法、インターネットの検索 ③文章作成ソフト(ワードの基本) キーボード入力、簡単な文章作成 ④手紙、回覧板等の作成(野線、書式の習得) ⑤パワーポイントの基本操作 ⑥作品発表	藤井 貞仁	20 1.0	講義 演習	小テスト 学習態度 出席率	エクセル ワード パワー ポイント
1年前・後期	基礎演習 (作業演習)	農作業で使用する農具の適切な使い方、農業機械の構造と適切な使用、整備と管理及びドローンの活用と操作を学ぶ。	①農機具類の安全な使用 ②農業機械の構造 ③農業機械の点検と整備 ④ロープワーク ⑤溶接の基本	馬場 秀樹 佐藤 泰三 藤岡 敏明 中四国クボタ	20 1.0	演習	学習態度 提出物 出席率	新版：農業機械の構造と利用 (農文協)資料
1年前期	農業・食品加工基礎実習	班編制により、果樹、作物・野菜、花き、土壌分析、食品加工及び畜産飼養管理について学び、進路選択やプロジェクト課題検討の参考とする。	①農業大学校における果樹、作物、野菜、花きの栽培管理の実際 ②土壌の分析と診断 ③食品加工の基本 ④畜産研究所における鶏、牛、豚の飼養管理と研究成果 ⑤農業生産技術コース、6次産業ビジネスコースにおけるプロジェクト・実習の取組	各分野担当 畜産研究課	76 2.5	実習	学習態度 出席率	プリント 他
1年後期	卒論演習 I	プロジェクトの課題設定から試験設計にいたる進め方を学び、計画書を作成する。	①プロジェクトの課題設定 ②仮説の立て方と検証方法の検討 ③試験設計 ④科学論文作成についての考え方 ⑤計画発表(プレゼンテーション)	村田 光稔	16 1.0	演習	出席状況 学習態度 提出物	資料 パワー ポイント

専門教科（食品・流通）

時期	科目名	学習のねらい	授業計画	担当教官 (補助教官)	時間 単位	履修 方法	評価方法	教 材
1年前期	食品栄養学	食べ物に含まれる栄養成分の化学的性状や機能を講義する。食品を摂取することがヒトの成長、発育、活動を可能にしている。このように生命を支える食品の多種多様な成分の役割についての理解と探究心をはぐくむことを本講義の目的とする。	①人と食べ物 ②食品の1次機能 炭水化物、単糖 ③不斉炭素、二糖類 ④オリゴ糖～多糖類 ⑤脂質 飽和脂肪酸と多価不飽和脂肪酸 ⑥中性脂肪と複合脂質、ステロール ⑦脂質酸化、必須脂肪酸 ⑧タンパク質とアミノ酸 ⑨タンパク質の立体構造 ⑩タンパク質の変性、栄養 ⑪脂溶性ビタミン、水溶性ビタミン ⑫ナトリウムや鉄、ミネラルの役目 ⑬食品の成分 ⑭水分活性と中間水分食品 ⑮色素、旨味、甘味料	西尾 幸郎	30 2.0	講義	期末試験 学習態度 出席率	栄養科学 イラスト レイテッ ド 食品学 I (羊土社)
1年後期	食品機能学	健康を増進し、病気になりにくい食生活を目指す機能性食品開発の理	①緑藻ヘマトコッカスが産生する アスタキサンチンの抗酸化能 ②紫サツマイモのアントシアニン ③甘味料と香気成分	西尾 幸郎	16 1.0	講義	期末試験 レポート	栄養科学 イラスト レイテッ ド

		論を習得する。	④植物性・動物性有毒物質 麻痺性貝毒とふぐ毒 ⑤特定保健用食品の関与成分 ⑥オリゴ糖と糖タンパク質 ⑦アミノ酸と活性ペプチド ⑧多価不飽和脂肪酸 EPAとDHAの生理活性					食品学 I (羊土社)
1年後期	農産物・食品流通特論	県内大手量販店であるキョーエいの流通・販売の取り組みや現状、今日的な課題について理解を深める。	①競争社会戦略 (バリューチェーン)、差別化の構築など (すきとく市を例にして) ②価格、販売戦略 (価格の設定方法) ③とくし丸の社会貢献活動 ④プロモーション戦略の進め方 (新規顧客の獲得、商品やサービスの認知拡大など) ⑤農業と生物多様性 ⑥SDGs ⑦加工食品の表示と食品衛生 ⑧HACCPの概要	小出 直史 (片山 環奈)	1 6 1.0	講義	学習態度 出席率 レポート	パワーポイント資料等

専門教科 (経営)

時期	科目名	学習のねらい	授業計画	担当教官 (補助教官)	時間単位	履修方法	評価方法	教材
1年後期	6次産業化概論	6次産業化を図る際に必要な知識について講義・演習を通して学ぶ。	①事業とは ②企業の強み分析 ③企業戦略 ④顧客ニーズ ⑤マーケティング ⑥ブランド力 ⑦企業の収益 ⑧組織論	長尾 辰彦	1 6 1.0	講義	レポート	パワーポイント資料等

専門教科 (社会・経済)

時期	科目名	学習のねらい	授業計画	担当教官 (補助教官)	時間単位	履修方法	評価方法	教材
1年後期	地域農業	本県地域農業の現状や課題、今後の方向や普及指導機関による支援活動について知見を深め、地域農業の中核的役割を担う人材としての資質向上をめざす。	①徳島県全域の農林水産業等 ②徳島地域の農林水産業等 ③鳴門藍住地域の農林水産業等 ④阿南地域の農林水産業等 ⑤美波地域の農林水産業等 ⑥吉野川地域の農林水産業等 ⑦美馬地域の農林水産業等 ⑧三好地域の農林水産業等	高度技術支援課長、各農業支援センター所長 (馬場 秀樹)	1 6 1.0	講義	レポート 出席率 学習態度	パワーポイント資料等

専門教科 (農業生産技術コース選択)

時期	科目名	学習のねらい	授業計画	担当教官 (補助教官)	時間単位	履修方法	評価方法	教材
1年前期	農業機械学	農業機械の主な作業機や機械の構造、安全な使用について学ぶ。	①トラクターの構造と操作 ②歩行型トラクターの特徴 ③ガソリン機関、ディーゼル機関 ④電動機の構造と原理 ⑤耕耘整地用機械の種類 ⑥稲作の作業体系と機械 ⑦野菜・畑作用機械の種類と構造 ⑧農業機械の効率的利用	佐藤 泰三	1 6 1.0	講義	期末試験 小テスト 学習態度	新版：農業機械の構造と利用 (農文教) プリント
1年後期	スマート農業	施設栽培等におけるスマート農業について事例をふまえながら学習する。	①施設栽培の長所と短所 露地との違い 施設内環境の特徴 (光、温度、湿度) ②養液栽培のねらいとしくみ	中野 理子 誠和 中四国クボタ	1 6 1.0	講義 演習		

			③養液栽培の培養液の管理 ④施設環境における環境制御の基礎 ⑤ICT概論 ⑥スマート農業の現状と今後 ⑦施設内等環境モニタリング装置 ⑧リモートセンシングによる自動操舵					
1年後期	ドローン講習	ドローン操縦者のライセンス取得を目指して、講義・実機操縦・受験資格取得まで一貫して学ぶ。	①初級講習 講義：各種法令、安全基準、禁止事項 実技：飛行基本操作、GPSを使用しない操縦法 ②上級講習 講義：操作技術、ドローン運用法、夜間飛行、目視外飛行 実技：実機による操作技術として遠距離離着陸、遠距離手動操作、8の字飛行、夜間及び目視外飛行	外部委託講師 (中野 理子)	3.2 2.0	講義 演習	出席状況 学習態度	関係資料 等
1年後期	農業体験学習	先進的な農業経営や地域農業の実態を体験的し、高度な知識や技術及び企業的な経営管理能力を養う。	①県内先進的農業者・法人等での体験	県内農業経営体等	7.2 2.0	実習	出席状況 発表内容	
1年前期	コース実習I	基本的な農作物や家畜の栽培・飼養管理、食品加工体験を通して農業との関わり方を明確にするとともに、農業技術の深化に関するプロジェクト課題の探索を行う。	①コースで栽培・飼養している多種多様な農作物・家畜、食品加工等の基礎的技術習得 ②安全ルールを遵守した作業管理 ③農作物・家畜の観察 ④日々の活動記録の習慣化 ⑤模擬会社の各担当の役割の理解 ⑥農業技術の深化に関する事例研究	農業生産技術コース職員	114 3.5	実習	学習態度 出席状況 自己評価	関係資料
1年後期	コース実習II	高度・専門的な農作物や家畜の栽培・飼養管理、食品加工の実践を通して技術修得と感覚を醸成するとともに、農業生産技術の深化に向けたプロジェクト課題に取り組む。	①コースで栽培・飼養する農作物・家畜等の管理作業の修得 ②安全・効率的な作業手順と役割分担の構築 ③模擬会社の運営体制を反映した日々の実習作業の運営 ④模擬会社商品化検討 ⑤問題の現状分析と課題の明確化 ⑥農業技術の改善に貢献しうるプロジェクト計画作成と取り組み ⑦発表プレゼンテーション演習	農業生産技術コース職員	330 11.0	実習	学習態度 出席状況 自己評価	関係資料

専門教科（6次産業ビジネスコース選択）

時期	科目名	学習のねらい	授業計画	担当教官 (補助教官)	時間 単位	履修 方法	評価方法	教材
1年前期	デザイン基礎	色彩学を含めたデザインの基礎を学ぶ。生活の中では、インテリア・ファッション・雑貨・ガーデニング等色彩感覚が求められる中で色彩を中心としたデザインの基礎を理解する。	①デザイン基礎(色彩学)色相環 ②色彩と感情 ③自分色を発見(1) 自分に似合う色を見つける ④自分色を発見(2) イラスト化する ⑤花の色合わせ ⑥花の色合わせ (色彩を考えて着色する) ⑦問題解決ができるデザインの発想法 ⑧自分自身を表現する(自分を動物・植物・家電等で表現する)	坂野 美恵子	1.6 1.0	講義 演習	出席状況 作品提出 等	色鉛筆
1年後期	食品加工保蔵学	食品加工の目的や意義を知り、加	①食品加工の目的・意義 ②食品保存の原理	金丸 芳	1.6 1.0	講義	期末試験 学習態度	新しい食 品加工学

		工の手法や原理および食品素材の特徴を学び、貯蔵・保存の原理を習得する。	③食品貯蔵の原理 ④食品加工の原理 ⑤加工食品の規格と表示 ⑥食品の包装および安全性 ⑦農産物の加工 ⑧畜産物の加工			出席率	(南江堂)プリントポイント	
1年後期	食品衛生学	食品に起因する健康被害及び微生物による中毒について、それら疾病の特徴や危害因子の特性及び防止方法の基礎的知識を学ぶ。さらに、食品の安全性を確保するための食品衛生の重要性について学習する。また、一般生菌数の測定など、微生物検査について実験を行う。	①食品衛生の目的 ②食品と微生物 ③食品の変質と防止 ④細菌性食中毒の特徴と予防 ⑤微生物学実験の一般的諸注意 ⑥食品中の一般生菌数の測定(実験講義) ⑦食品中の一般生菌数の測定(実験) ⑧食品中の一般生菌数の測定(培養結果観察) ⑨食品中の一般生菌数の測定(考察とまとめ) ⑩ウイルス性食中毒の特徴と予防 ⑪自然毒食中毒・化学性食中毒 ⑫有害物質による食品汚染 ⑬食品による感染症・寄生虫症 ⑭食品添加物の使用目的と安全性評価 ⑮食品衛生に関する最近のトピックス	岡崎 貴世	30 2.0	講義 実験	期末試験 出席状況 受講態度 レポート	プリント パワーポイント
1年前期	食品加工演習	六次産業化研究施設に設置された機器を利用し、実習をとおして使用方法及び加工技術を学ぶ。	①六次産業化研究施設に設置された機器の概要 ②電解水製造装置の使用法習得 ③スチームコンベクションオーブン、真空包装機の使用法及び加工技術習得(焼き菓子試作) ④アイスクリームフリーザーの使用法及び加工技術の習得(アイスクリーム試作) ⑤小型高温高圧調理機の使用法及び加工技術の習得(レトルト食品試作)	庄野 久美子 吉田 理恵	16 1.0	演習	出席状況 学習態度	プリント
1年後期	6次産業体験学習	単なる農業生産にとどまらず高付加価値農業を展開している農業経営体や流通・販売、資材・機械、食品企業等の農業を取り巻く幅広い業界で、体験学習する。	①県内企業的経営体、食品加工・流通企業等での体験学習	県内企業体等	72 2.0	実習	出席状況 発表内容	
1年前期	コース実習Ⅰ	基本的な農作物や家畜の栽培・飼養管理、食品加工体験を通して農業との関わり方を明確にするとともに、6次産業化の進展に関するプロジェクト課題の探索を行う。	①コースで栽培・飼養している多種多様な農作物・家畜、食品加工等の基礎的技術習得 ②安全ルールを遵守した作業管理 ③農作物・家畜の観察 ④日々の活動記録の習慣化 ⑤模擬会社の各担当の役割の理解 ⑥6次産業化の進展に関する事例研究	6次産業ビジネスコース担当	98 3.0	実習	学習態度 出席状況 自己評価	関係資料
1年後期	コース実習Ⅱ	高度・専門的な農作物や家畜の栽培・飼養管理、食品加工の実践を通して技術修得と感覚を醸成するとともに、6次産業化の進展に向けたプロジェクト課題に取り組む。	①コースで栽培・飼養する農作物・家畜等の管理作業の修得 ②安全・効率的な作業手順と役割分担の構築 ③模擬会社の運営体制を反映した日々の実習作業の運営 ④模擬会社商品化検討 ⑤問題の現状分析と課題の明確化 ⑥地域産業の発展に貢献しうるプロジェクト計画作成と取り組み ⑦発表プレゼンテーション演習	6次産業ビジネスコース担当	330 11.0	実習	学習態度 出席状況 自己評価	関係資料

(2) 2年次生(令和4年度入学生適用)

①科目履修表

令和5年度 2年次生(令和4年度入学) 科目履修表(本科・単位制)

単位:時間・単位数

区分	1年次生(令和4年度開講)								2年次生(令和5年度)								
	前期				後期				前期				後期				
	科目名	時間	単位	履修方法	科目名	時間	単位	履修方法	科目名	時間	単位	履修方法	科目名	時間	単位	履修方法	
教養	小論文	30	2.0	演習	英語Ⅱ(英会話)	30	2.0	講義・演習	キャリア形成	8	0.5	講義・演習					
	英語Ⅰ(英会話)	30	2.0	講義・演習	進学英語Ⅱ			講義・演習	ビジネスマナー	12	0.5	演習					
	進学英語Ⅰ			講義	農村社会と文化	30	2.0	講義	就職対策	14	0.5	講義・演習					
	生物(進学)	(30)	(2.0)	講義	化学			講義									
	基礎計算(補講)	(16)	(-)	講義													
	体育(野球、卓球、バレーボール、バドミントン)					30	1.0	実技	体育(野球、卓球、バレーボール、バドミントン)					28	0.5	実技	
	特別講義					29	1.5	講義・演習	特別講義					23	1.5	講義・演習	
	集団活動(必須)					64	2.0	実習	集団活動(必須)					68	2.0	実習	
	教養科目計(補講、生物含めず)					243	12.5		教養科目計					153	5.5		
	栽培 飼養 管理	農業基礎	30	2.0	講義	花き園芸	30	2.0	講義	果樹栽培各論	30	2.0	講義	植物防疫学	30	2.0	講義
作物		30	2.0	講義	畜産	30	2.0	講義	野菜栽培各論	講義			農業気象学	16	1.0	講義	
野菜園芸		30	2.0	講義				花き栽培各論	講義	高度技術演習			16	1.0	講義・演習		
果樹園芸		30	2.0	講義				家畜飼養衛生	講義								
実用計算		16	1.0	講義	卒論演習Ⅰ	16	1.0	演習	特産物生産	16	1.0	講義					
基礎演習(農学実験)						20	1.0	講義・演習	植物生理学	30	2.0	講義					
基礎演習(農業簿記)						20	1.0	講義・演習	卒論演習Ⅱ					30	2.0	演習	
基礎演習(情報処理)						20	1.0	講義・演習									
基礎演習(作業演習)						20	1.0	講義・演習									
農業・食品加工基礎実習		76	2.5	実習													
食品 流通	食品栄養学	30	2.0	講義	食品機能学	16	1.0	講義	食の安全・安心	16	1.0	講義					
					農産物・食品流通特論	16	1.0	講義	マーケティング論	16	1.0	講義					
経営					6次産業化概論	16	1.0	講義	経営戦略論	16	1.0	講義・演習	農業経営と組織論	30	2.0	講義	
					地域農業	16	1.0	講義	環境と農業	30	2.0	講義	地域経済論	16	1.0	講義・演習	
社会 経済													農業政策	30	2.0	講義	
	専門(共通)科目計					462	26.5		専門(共通)科目計					322	21.0		
選択 農業 生産	農業機械学	16	1.0	講義	施設園芸学	16	1.0	講義	GAP演習	16	1.0	講義・演習	卒業論文(必須)	150	10.0	演習	
					ICT利用	30	2.0	演習	土壌肥科学	16	1.0	講義・演習					
					農業体験学習(必須)	72	2.0	実習	農業体験学習(必須)	72	2.0	実習	農業巡見	16	1.0	演習	
	コース実習Ⅰ(必須)	116	3.5	実習	コース実習Ⅱ(必須)	340	11.0	実習	コース実習Ⅲ(必須)	262	8.5	実習	コース実習Ⅳ(必須)	268	8.5	実習	
	選択(農業生産技術コース)科目計					590	20.5		選択(農業生産技術コース)科目計					800	32.0		
選択 6次 産業	デザイン基礎	16	1.0	講義・演習	食品加工保蔵学	16	1.0	講義	HACCP演習	16	1.0	講義	卒業論文(必須)	150	10.0	演習	
	食品加工演習	16	1.0	演習	食品衛生学	30	2.0	講義・実験	園芸福祉	16	1.0	講義・演習					
									新ビジネス創造	16	1.0	講義・演習					
									食品産業特別講義	16	1.0	講義・演習					
						6次産業体験学習(必須)	72	2.0	実習	6次産業体験学習(必須)	72	2.0	実習	6次産業巡見	16	1.0	演習
	コース実習Ⅰ(必須)	100	3.0	実習	コース実習Ⅱ(必須)	340	11.0	実習	コース実習Ⅲ(必須)	230	7.5	実習	コース実習Ⅳ(必須)	268	8.5	実習	
選択(6次産業ビジネスコース)科目計					590	21.0		選択(6次産業ビジネスコース)科目計					800	33.0			
指定 科目	造園技術・造園技能	32	2.0	演習	危険物取扱者	16	1.0	演習	造園技術・造園技能	(32)	-	演習	危険物取扱者	16	1.0	演習	
					毒物劇物取扱者	16	1.0	演習	家畜人工授精師	140	9.0	講義・実習	毒物劇物取扱者	16	1.0	演習	
					農業技術の基礎	16	1.0	講義	家畜商	16	1.0	講義	農業技術の基礎	16	1.0	講義	
					農業機械実習	32	1.0	実習	英語聴覚対策講座	16	1.0	講義	農業機械実習	(32)	(-)	実習	
					フォークリフト実習	48	1.5	実習	パソコン検定対策講座	16	1.0	演習	フォークリフト実習	(48)	(-)	実習	
					土壌肥験対策講座	16	1.0	講義				土壌肥験対策講座	16	1.0	講義		
					狩猟免許対策講座	8	0.5	講義				狩猟免許対策講座	(8)	(-)	講義		
農業生産技術コース				共通・選択科目計(指定科目含めず)	1,295	59.5		農業生産技術コース				共通・選択科目計(指定科目含めず)	1,275	58.5			
6次産業ビジネスコース				共通・選択科目計(指定科目含めず)	1,295	60.0		6次産業ビジネスコース				共通・選択科目計(指定科目含めず)	1,275	59.5			
									2年間履修時間・単位数計	2,570	118.0		実習時間割合%		生産	46.9	
										2,570	119.5				6次	45.1	

※科目内容・時間については変更する場合があります。

※単位は、講義・演習は15時間を1単位、実習・実技は30時間を1単位とし、0.5単位で端数を切り捨て換算。

②授業計画（シラバス）

目次

教養教科

キャリア形成	2年前期	・・・	24
ビジネスマナー	2年前期	・・・	24
就職対策	2年前期	・・・	24
体育	2年全期	・・・	24
特別講義	2年全期	・・・	24
集団活動	2年全期	・・・	24

専門教科（栽培・飼養管理）

果樹栽培各論	2年前期	・・・	25
野菜栽培各論	2年前期	・・・	25
花き栽培各論	2年前期	・・・	25
家畜飼養衛生	2年前期	・・・	25
特産物生産	2年前期	・・・	26
植物生理学	2年前期	・・・	26
植物防疫学	2年後期	・・・	26
農業気象学	2年後期	・・・	26
高度技術演習	2年後期	・・・	26
卒論演習Ⅱ	2年全期	・・・	26
卒業論文	2年後期	・・・	27

専門教科（食品・流通）

食の安全・安心	2年前期	・・・	27
マーケティング論	2年前期	・・・	27

専門教科（経営）

経営戦略論	2年前期	・・・	27
農業経営と組織論	2年後期	・・・	27

専門教科（社会・経済）

環境と農業	2年前期	・・・	28
地域経済論	2年後期	・・・	28
農業政策	2年後期	・・・	28

専門教科（農業生産技術コース選択）

GAP演習	2年前期	・・・	28
土壌肥科学	2年前期	・・・	28
農業体験学習	2年前期	・・・	29
農業巡見	2年後期	・・・	29
コース実習Ⅲ	2年前期	・・・	29
コース実習Ⅳ	2年後期	・・・	29

専門教科（6次産業ビジネスコース選択）

HACCP演習	2年前期	・・・	29
園芸福祉	2年前期	・・・	29
新ビジネス創造	2年前期	・・・	29
食品産業特別講義	2年前期	・・・	30
6次産業体験学習	2年前期	・・・	30
6次産業巡見	2年後期	・・・	30
コース実習Ⅲ	2年前期	・・・	30
コース実習Ⅳ	2年後期	・・・	30

教養教科

時期	科目名	学習のねらい	授業計画	担当教官 (補助教官)	時間 単位	履修 方法	評価方法	教 材
2年 前期	キャリア形 成	学校を卒業して から、社会で生き ていく自分を考 えるための授業。 「キャリア」につ いて学び、自分自 身の「キャリアプ ランニング」に取 り組む。	①授業の概要・キャリアは人生そ のもの 経験を振り返る ②自分を知ろう・キャリアについ て考えよう・若年層の雇用環境 ③オンライン面接のコツ ④キャリア形成の考え方と方法 (キャリア形成7つのステップ) ⑤キャリアプランニング実践(自 分の人生を考えよう)	藪田 ひとみ	8 0.5	講義 演習 グループ ディスカ ッション	出席状況 授業態度 (参加意 欲) 自分の振 り返し シート作成 等	プリント パワーポ イント
2年 前期	ビジネスマ ナー	社会人として身 につけておきたい ビジネスマナーの 基礎を習得する。	①他己紹介、話の聞き方・話し方、 挨拶・笑顔の大切さ ②第一印象の重要性、構成要素と 対人関係五つのポイント ③言葉のマナー、敬語の必要性・ 種類と基本技法 ④敬語の誤用例と正しい使い方 ⑤名刺の出し方・受け方、電話の 特徴、かけ方、受け方 ⑥電話応対マナー、基本用語を声 に出して練習	学識経験者	1 2 0.5	演習	模擬面接 学習態度	社会でい きる実践 ビジネス マナー (株)ウイ ネット ビジネス マナー研 究会
2年 前期	就職対策	就職活動、今日 の社会環境及び社 会的・職業的自律 を目指し、基礎的 能力を養う。 就業力に不可欠 な日本語力・コミ ュニケーション力 及びビジネスマナ ー力の向上を図 る。 自らの就職活動 を自主的に進める ことができる。	①ガイダンス：農業大学の進路 情報および就職準備 ②就職活動に必要なマナー ③企業に求められる人材を知ろう ④履歴書の作成の書き方(1) 文章指導：学生時代頑張ったこ と ⑤履歴書の作成の書き方(2) 文章指導：志望動機 ⑥履歴書の作成の書き方(3) 文章指導：自己PR ⑦コミュニケーション演習 面接対策・模擬面接	山野 明美	1 4 0.5	講義 演習	出席状況 履歴書継 続的に作 成するこ と	自作資料 等 パワーポ イント
2年 前・ 後期	体育 ※野球 卓球 バレーボール バドミントン から選択	チームワークの 楽しさを味わいな がら、スポーツ競 技の技術を習得す るとともに、心身 の鍛錬に資する。	(野球) ①個人的技能の向上 ②集団的技能の向上 ③ルール・審判法について (卓球) ①基本動作と多球練習(反復練習) ②日本卓球協会の正式ルール ③競技 ④応用練習 (バレーボール、バドミントン) ①ルール説明 ②基礎練習 ③競技	岩野 哲治 近藤 修司 岡田 和行 久次米 慶二	2 8 0.5	実技	学習態度 出席率	
2年 前・ 後期	特別講義	他の講義に属さ ず、短期間で習得 できる内容につい て、集中的に1～ 2回の講義で学 ぶ。	①農業青年のつどい ②税と社会 ③ハローワーク研修 ④農業法人との交流会・就農相談 会 ⑤ジョブカード作成セミナー ⑥人権研修 ⑦交通講話 ⑧避難訓練 ⑨その他	各担当	2 3 1.5	講義 演習	学習態度 出席率	テキスト 関係資料
2年 前・ 後期	集団活動	学生自治会主催 の行事その他を学 習の一環と位置づ け、集団の一員と しての自主的、実 践的な態度を育て る。	①自治会総会、新入生歓迎会 ②四国農学連スポーツ大会 ③農大祭 ④収穫祭 ⑤その他自治会活動 ⑥その他	各行事担当	6 8 2.0	実習	出席状況 学習態度	関係資料

専門教科（栽培・飼養管理）

時期	科目名	学習のねらい	授業計画	担当教官 (補助教官)	時間 単位	履修 方法	評価方法	教材
2年 前期	果樹栽培各論 ※果樹、野菜、花き、家畜飼養から選択	我が国における主要果樹の品種特性や最新の栽培技術について学ぶ。また、本県独自の果樹栽培について、生産から流通販売までを理解する。	①リンゴの品種と栽培技術 ②スダチの栽培技術と流通販売 ③ナシの品種と栽培技術 ④ブドウの品種と栽培技術 ⑤カキの品種と栽培技術 ⑥モモの品種と栽培技術 ⑦ウメの品種と栽培技術 ⑧スモモ類の品種と栽培技術 ⑨イチジクの品種と栽培技術 ⑩その他落葉果樹の品種と特性 ⑪カンキツ類の品種と栽培技術	徳永 忠士	30 2.0	講義	期末試験 小テスト 学習態度	新版：果樹栽培の基礎 (農文協) プリント パワーポイント
2年 前期	野菜栽培各論 ※果樹、野菜、花き、家畜飼養から選択	野菜の基礎的な栽培管理と本県現地における実践的な生産動向や最新技術情報について学ぶ。	①生育と環境、生産状況 ②ダイコン、カブ、ニンジンの栽培管理 ③ジャガイモ、サツマイモの栽培管理 ④サトイモ、ヤマノイモ、レンコンの栽培管理 ⑤ホウレンソウ、シュンギクの栽培管理 ⑥結球レタス、ツケナ類の栽培管理 ⑦結球ハクサイ、キャベツ、ブロッコリーの栽培管理 ⑧ネギ、タマネギの栽培管理 ⑨ナス、ピーマンの栽培管理 ⑩トマトの栽培管理 ⑪キュウリ、カボチャ、スイカの栽培管理 ⑫イチゴの栽培管理 ⑬スイートコーン、ソラマメ、エンドウの栽培管理 ⑭オクラ、パセリの栽培管理 ⑮まとめ	山田 盛生 (16) 松村 茂 (14)	30 2.0	講義	期末試験 小テスト 学習態度	新版：野菜栽培の基礎 (農文協)
2年 前期	花き栽培各論 ※果樹、野菜、花き、家畜飼養から選択	本県で栽培されている主要な花きの栽培方法について、生育相や開花調整技術等を通じて理解する。また、花きの名称や主要な産地や経営面についても学ぶ。	①花き苗の生産 ②鉢花の生産 ③観葉植物の生産 ④キク栽培の概要と露地栽培 ⑤キクの施設栽培 ⑥シンビジウムの生産 ⑦ファレノプシス、オンシジウムの生産 ⑧花木の生産 ⑨主要な花きの名称と産地・トルコギキョウの生産 ⑩スターチス類の生産 ⑪ヒマワリ、ケイトウの生産 ⑫ストックの生産 ⑬アスター、デルフィニウムの生産 ⑭カーネーションの生産 ⑮ユリ類の生産	平尾 大河	30 2.0	講義	期末試験 小テスト 学習態度	新版：草花栽培の基礎 (農文協)
2年 前期	家畜飼養衛生 ※果樹、野菜、花き、家畜飼養から選択	畜産物の安全かつ持続的な生産を行うために、家畜飼養、畜産物利用、家畜の疾病予防および衛生対策について学び理解させる。	①人間と家畜 ②家畜の改良と繁殖 ③家畜の栄養 ④家畜の消化生理 ⑤家畜の飼料 ⑥畜産物の利用(食肉及び肉製品) ⑦畜産物の利用(牛乳及び乳製品) ⑧持続的かつ発展的な畜産 ⑨家畜衛生の役割と重要性 ⑩家畜疾病の感染と発病 ⑪人獣共通感染症 ⑫家畜の飼養衛生管理基準と疾病の予防(消毒・ワクチン) ⑬牛の疾病 ⑭豚の疾病 ⑮鶏の疾病	北田 紫 (14) 林 和徳 (16)	30 2.0	講義	期末試験 小テスト 学習態度	家畜飼育の基礎 (農文教) 飼養衛生管理基準 (農水省) プリント パワーポイント

2年 前期	特産物生産	徳島県における地域農業の伝統的な特産物等について理解を深め、これら貴重な地域資源の活用方法など幅広い知識を学習する。	①徳島県内で生産される特産作物 ②山菜(たらのめ、山ふき他) ③茶栽培と阿波晩茶 ④雑穀・そば ⑤つまもの(彩)他 ⑥阿波藍・和三盆・こんにやく ⑦林産物(みつまた、菌茸類) ⑧野生鳥獣による被害と対策	高木 一文	1 6 1. 0	講義	期末試験 小テスト 学習態度	プリント 関係資料
2年 前期	植物生理学	植物の生理現象について、基礎的な事項を理解する。	①植物生理学とは ②光合成と代謝(1) ③光合成と代謝(2) ④光合成と代謝(3) ⑤発生と形態形成(1) ⑥発生と形態形成(2) ⑦発生と形態形成(3) ⑧環境(1) ⑨環境(2) ⑩環境(3) ⑪成長と植物ホルモン(1) ⑫成長と植物ホルモン(2) ⑬成長と植物ホルモン(3) ⑭栄養 ⑮まとめ	馬場 秀樹	3 0 2. 0	講義	期末試験 小テスト 学習態度	絵とき植物生理学入門(オーム社)プリント
2年 後期	植物防疫学	作物を病害虫から守るため、主な病原体や害虫の生態、病虫害の症状、防除法、農薬について学ぶ。	①植物防疫とは ②病原体の種類と感染生理(1) ③病原体の種類と感染生理(2) ④害虫の種類と生態(1) ⑤害虫の種類と生態(2) ⑥病虫害の発生予察と植物検疫 ⑦農薬の基礎知識と安全性 ⑧殺菌剤の種類と効果 ⑨殺虫剤の種類と効果 ⑩物理的防除の実際 ⑪耕種的防除の実際 ⑫生物的防除の実際(1) ⑬生物的防除の実際(2) ⑭今後の病虫害管理 ⑮まとめ	貞野 光弘	3 0 2. 0	講義	期末試験 小テスト 学習態度	図解でよくわかる病虫害のきほん(誠文堂新光社)プリント
2年 後期	農業気象学	農業生産における最大の制限要素である「気象」及び近年関心が高まる地球温暖化について、農業への影響を学習する。	①農業気象学について ②気象観測と気象現象(1) ③気象観測と気象現象(2) ④気象と農業への利用(1) ⑤気象と農業への利用(2) ⑥農業気象災害と対策 ⑦地球温暖化について ⑧気象業務の紹介	所 洋志 徳島地方気象台	1 6 1. 0	講義	期末試験 学習態度 出席率	プリント 関係資料
2年 後期	高度技術演習	農林水産総合技術支援センターにおける試験研究・調査研究の現状と成果を紹介し、徳島県農業の課題と解決策を探る。	①藍・山菜等に関する技術開発や研究成果について ②野菜・花きに関する技術開発や研究成果について ③経営流通に関する研究成果 ④スマート農業に関する技術開発や研究成果について ⑤果樹に関する技術開発や研究成果について ⑥森林資源に関する技術開発や研究成果について ⑦生産環境に関する技術開発や研究成果について ⑧病虫害等に関する技術開発や研究成果について ⑨牛に関する技術開発や研究成果について ⑩養豚に関する技術開発や研究成果について ⑪養鶏に関する技術開発や研究成果について	各課研究員 (片山 環奈)	1 6 1. 0	講義 演習	レポート 学習態度 出席率	関係資料 パワーポイント
2年 前・ 後期	卒論演習Ⅱ	プロジェクト学習における成果のまとめ方や卒業論文の書き方、発表	①プロジェクトの見通しをたてる ②データの集計方法と評価 ③データの検証、仮説の確かさ、有効性の評価	村田 光稔	3 0 2. 0	演習	出席状況 学習態度 提出物 取組姿勢	自作資料

		方法等について理解を深める。	④中間検討結果と意見の反映 ⑤論文の再構築 ⑥プレゼンテーション演習 ⑦記述上の約束事等の理解 ⑧科学的な視点の習得				演習シート 記載内容	
2年 後期	卒業論文	プロジェクト研究成果を卒業論文としてまとめる。	①緒言 現状分析を深め、目的と立証したい仮説を再確認する。 ②材料及び方法 試験研究の再現性を重視した記述を行う。 ③結果 得られたデータや成果を適切に記述する。 ④考察 得られた成果から仮説を検証する。 ⑤要約 論文の全過程を正確に把握し要点をとりまとめる。	卒論担当指導教官	150 10.0	演習	出席状況 学習態度 発表成果 卒業論文 評価	

専門教科（食品・流通）

時期	科目名	学習のねらい	授業計画	担当教官 (補助教官)	時間 単位	履修 方法	評価方法	教 材
2年 前期	食の安全・ 安心	食品の安全性等について正しく理解する。	①食品安全入門 ②食の安全を脅かす可能性のある危害要因 ③食料調達のために使用されるものの ④食の安全を守る仕組みと制度	庄野 久美子	1 6 1.0	講義	期末試験 小テスト レポート 学習態度	食品安全 検定テキスト（中 央法規） プリント
2年 前期	マーケティ ング論	マーケティングの概念やマーケティング活動のプロセスを学び、マーケティング的な視点による企業（経営体）の行動理解や自身の課題解決の一助とする。	①現代市場とマーケティング① ②現代市場とマーケティング② ③消費者行動 ④市場調査 ⑤製品政策 ⑥価格政策 ⑦チャネル政策 ⑧プロモーション政策	所 洋志	1 6 1.0	講義	期末試験 学習態度 出席率	マーケテ ィング （東京法 令出版） 関係資料 プリント

専門教科（経営）

時期	科目名	学習のねらい	授業計画	担当教官 (補助教官)	時間 単位	履修 方法	評価方法	教 材
2年 前期	経営戦略論	経営や起業に際して必要となる知識や実践力について、講義や演習を通して学習する。	①市場とは ②商品力の基礎 ③販売力の基礎 ④原価計算の知識 ⑤競争力の源泉 ⑥販売戦略 ⑦リスクマネジメント ⑧経営者としての判断力とは	長尾 辰彦	1 6 1.0	講義 演習	小テスト レポート 学習態度 出席率	ビズスト ームで学 ぶビジネ スの基本 （ビズス トーム研 究会著） パワーポ イント等
2年 後期	農業経営と 組織論	農業経営を实践するために必要な基礎知識や農業・農村の中で農業者がかかわる組織の特徴や活動について、県内の事例をふまえながら学ぶ。	①日本農業の発展 ②日本農業の特徴 ③地域農業の担い手・世界的に見た日本農業 ④農業生産の要素と農業経営目標 ⑤生産諸要素の合理的結合 ⑥経営活動の成果とそのとらえ方 ⑦経営診断の指標 ⑧経営改善の基本的な手法 ⑨農産物の販売と流通 ⑩生産資材の選択と購入・資金の調達・労働力の調達 ⑪農業経営と農業協同組合 ⑫家族経営の長所と弱点 ⑬集団活動とその展開 ⑭農業経営と農業団体 ⑮日本と世界の農業政策	新居 智	3 0 2.0	講義	期末試験 小テスト 学習態度 出席率	農業経営 （実教出 版） 補足資料

専門教科（社会・経済）

時期	科目名	学習のねらい	授業計画	担当教官 (補助教官)	時間 単位	履修 方法	評価方法	教 材
2年 前期	環境と農業	環境の基本的な現状と問題を学習すると共に、環境と共存する農業のあり方について学習する。併せて有機農業や環境保全型農業について学ぶ。	①人間と環境 ②公害の発生と法規制 ③水資源と人間活動 ④都市の環境問題と自然 ⑤人間活動による大気汚染 ⑥化学物質と環境 ⑦地球環境問題 ⑧地球温暖化とCO ₂ ⑨低炭素社会の構築 ⑩森林破壊と生物多様性 ⑪循環型社会の構築 ⑫環境保全型農業と有機農業 ⑬そもそも有機農業とは ⑭有機農業を科学的に考える ⑮環境と農業の振り返り	村田 光稔	3 0 2.0	講義	期末試験 小テスト 学習態度	新しい環境科学 (駿河台出版社)
2年 後期	地域経済論	地域経済の仕組みや現在の課題、活性化に向けての取り組みなどについて、徳島県の経済・産業などをかかわらせながら学ぶ。	①地域経済とは ②地域経済のしくみ ③地域経済をとりまく課題 ④徳島県の経済と産業 ⑤地域経済を良くするには(1) ⑥地域経済を良くするには(2) ⑦徳島県の経済を良くするには(1) ⑧徳島県の経済を良くするには(2)	玉有 繁	1 6 1.0	講義 演習	学習態度 出席率 レポート	プリント 関係教材
2年 後期	農業政策	日本及び徳島県における農政の現状を理解するとともに、様々な時事事例を検討し将来自らが営む農業がどのような政策のもとにあるのかについて学習する。	①日本農業の現状と農政の推移 ②国の農業政策 ③県の農業政策 ④担い手対策 ⑤生産振興への取り組み ⑥ブランド戦略への取り組み ⑦農業生産基盤の整備 ⑧農地について ⑨中山間地域について ⑩農業農村の「資源」とその活用 ⑪野生鳥獣被害対策 ⑫農政時事事例研究(1) ⑬農政時事事例研究(2) ⑭地域農業・農村の展望 ⑮SDGsと農業	林 孝典	3 0 2.0	講義	期末試験 学習態度 出席率	プリント 関係資料

専門教科（農業生産技術コース選択）

時期	科目名	学習のねらい	授業計画	担当教官 (補助教官)	時間 単位	履修 方法	評価方法	教 材
2年 前期	GAP演習	GAPの基本的な考え方から県GAP、JGAP、ASIAGAP、GLOBALGAPを幅広く演習する。	①日本農業の現況とGAP導入 ②フードチェーンとGAP・HACCP ③オリンピック後のステージ3国際水準GAP ④国際水準GAPガイドラインの指導項目の留意点 ⑤安2GAP事例演習 ⑥直売所は生産者と消費者を安心でつなぐ架け橋	赤井 昭雄	1 6 1.0	講義 演習	出席状況 学習態度	プリント 関係資料
2年 前期	土壌肥料学	農作物の生育に必要な土壌環境、生物生育と土壌の化学性、物理性、生物性の関連、農作物の養分吸収及び施肥設計について学習する。	①作物栽培環境と栽培期間、栽培地域の拡大 ②作物の健全な生育と土壌環境 ③作物生育と土壌の化学性 ④作物生育と土壌の物理性 ⑤作物生育と土壌の生物性 ⑥土壌改良と施肥・灌水管理 ⑦コスト・環境負荷低減を目指した土壌・施肥管理	井上 眞一	1 6 1.0	講義 演習	期末試験 小テスト 学習態度	土づくりと作物生産(日本土壌協会)資料 土壌等サンプル

			⑧主要作物の特性と施肥管理 ⑨土壌診断の内容と進め方						
2年前期	農業体験学習	先進的な農業経営や地域農業の実態を体験し、高度な知識及び技術並びに企業的な経営管理能力を養う。	①県内先進的農業者・法人等での体験	県内農業経営体等	7 2 2.0	実習	出席状況 発表内容		
2年後期	農業巡見	県内の優良経営農家・法人、生産・加工施設、直売所等の見学を通してその生産・経営状況、取り組み状況について学ぶ。	①県内の農業経営優良事例の調査見学 3～4事例	農業生産技術コース担当	1 6 1.0	演習	レポート 学習態度 出席率	関係資料 等	
2年前期	コース実習Ⅲ	互いに協力し合いプロジェクトや模擬会社の目標達成に向け粘り強く実践するとともに、幅広く作業体験を積み重ねることにより、農業生産技術の改善に関する問題解決の視野を広げる。	①プロジェクト課題品目の栽培・飼養管理技術の習得 ②安全で効率的な作業手順を1年次生へ助言 ③模擬会社の運営体制を反映した協力体制を1年次生へ助言 ④計画に沿った調査、データ収集等進捗管理と達成状況の把握 ⑤中間検討プレゼンテーション ⑥模擬会社商品としての生産技術課題の地域への波及方法の検討	農業生産技術コース担当	262 8.5	実習	学習態度 出席状況 自己評価	関係資料	
2年後期	コース実習Ⅳ	プロジェクトの実践過程や得られた成果のとりまとめを通して、卒業後、社会で必要とされる問題解決能力を養うとともに成果の自家経営への導入検討や地域農業への提案を行う。	①プロジェクトの総括と振り返り ②多種多様な作業体験やプロジェクトへの取り組みで得られた知見や感覚の発展応用の検討 ③中間検討及び成果発表演習 ④発表演習を通して自己や他者の発表に対する適正な評価の視点を学ぶ ⑤農産物生産の視点から模擬会社運営体制改善への提言 ⑥模擬会社商品としての生産技術成果の地域への提案	農業生産技術コース担当	268 8.5	実習	学習態度 出席状況 自己評価	関係資料	

専門教科（6次産業ビジネスコース選択）

時期	科目名	学習のねらい	授業計画	担当教官 (補助教官)	時間 単位	履修 方法	評価方法	教材
2年前期	HACCP 演習	食品の安全性を向上させるための国際基準であるHACCPを把握する。	①HACCPの概要 ②食品衛生の中のHACCP ③HACCP実技演習1 ④HACCP実技演習2 ⑤HACCPを支える一般衛生管理 ⑥HACCPプランの作り方 ⑦CCPの決定 ⑧持続可能なHACCP運用	森本 尚子	1 6 1.0	講義	期末試験 学習態度 出席率	パワーポイント
2年前期	園芸福祉	園芸福祉は植物の生長にかかわる活動を通して、みんなで幸せになる運動・実践。園芸福祉に取り組むために必要な基礎的事柄を学習する。	①園芸福祉とは ②園芸の歴史と文化 ③やってみよう園芸(1) ④やってみよう園芸(2) ⑤やってみよう園芸(3) ⑥園芸と幸せづくり ⑦園芸とまちづくり ⑧園芸のデザイン	玉有 繁	1 6 1.0	講義 演習	レポート 学習態度 出席率	園芸福祉入門（日本園芸福祉普及協会編）、プリント パワーポイント
2年前期	新ビジネス 創造	地域活性化の視点での6次産業化の商品作りからブランディングまでの実践学習を行う。 またビジネスとして農業を発展させる。	①地域活性化の概要 ②6次産業化とは ③ブランディング講習 ④商品作りのプロセス ⑤実践講習（商品作り） ⑥炊飯体験、お米勉強会 ⑦グループワーク ⑧目標設定について	橋本 太郎 (庄野久美子)	1 6 1.0	講義 演習	レポート 学習態度 出席率	プリント パワーポイント

		せる手法についても学ぶ。							
2年前期	食品産業特別講義	6次産業化の取組に必要な知識・技術や感覚について、企業家や関係機関等による講義を通して学ぶ。	①6次産業化県内取組事例 ②売れるパッケージ、ブランドづくり ③販売戦略の立て方 ④商品企画開発の実際 経営者・企画開発者の立場から ⑤実習 ソーセージづくり	県内食品関連企業経営者 (片山 環奈)	16 1.0	講義 演習	学習態度 出席率 レポート	関係資料 パンフレット等	
2年前期	6次産業体験学習	一般的な農業生産活動にとどまらず高付加価値農業を展開している農業経営体や流通・販売、資材・機械、食品企業等の農業を取り巻く幅広い業界で、体験学習する。	①県内企業的経営体、食品加工・流通企業等での体験学習	県内企業体等	72 2.0	実習	出席状況 発表内容		
2年後期	6次産業巡見	県内の優良経営農家・法人、生産・加工施設、直売所等の見学を通して学ぶ。	①県内の6次産業化優良事例の調査研修 3～4事例	6次産業ビジネス担当	16 1.0	演習	レポート 学習態度 出席率	関係資料 パンフレット等	
2年前期	コース実習Ⅲ	互いに協力し合いプロジェクトや模擬会社の目標達成に向け粘り強く実践するとともに、幅広く作業体験を積み重ねることにより、問題解決に対する視野を広げる。	①プロジェクト課題品目の栽培・飼養管理技術の習得 ②安全で効率的な作業手順を1年次生へ助言 ③模擬会社の運営体制を反映した協力体制を1年次生へ助言 ④計画に沿った調査、データ収集等進捗管理と達成状況の把握 ⑤中間検討プレゼンテーション ⑥商品開発に向けた企画、製造等の作業工程管理及び流通・販売戦略の検討	6次産業ビジネス担当	230 7.5	実習	学習態度 出席状況 自己評価	関係資料	
2年後期	コース実習Ⅳ	プロジェクトの実践過程や得られた成果のとりまとめを通して、卒業後、社会で必要とされる問題解決能力を養うとともに成果の自家経営や地域農業、地域産業への普及・貢献方法について考える。	①プロジェクトの総括と振り返り ②多種多様な作業体験やプロジェクトへの取り組みで得られた知見や感覚の発展応用の検討 ③中間検討及び成果発表演習 ④発表演習を通して自己や他者の発表に対する適正な評価の視点を学ぶ ⑤新商品開発の視点から模擬会社運営体制改善への提言 ⑥開発商品の地域農業や地域産業への提案	6次産業ビジネス担当	268 8.5	実習	学習態度 出席状況 自己評価	関係資料	

(3) 指定科目 (資格取得教科)

時期	科目名	学習のねらい	授業計画	担当教官 (補助教官)	時間 単位	履修 方法	評価方法	教 材
前期	造園技術・造園技能	造園技能検定2、3級資格取得を目指す。	①造園実技試験作業演習 竹垣製作、縁石、飛び石敷設、支柱取り付け等 ②学科試験対策 庭園及び公園の種類、特徴、植栽、道具類、造園材料等	品川 哲夫 (片山 環奈) (植田 博昭)	(32) (一)	演習	出席状況 学習態度	作庭用資材 受験用テキスト
前期 夏期 休業 期間	家畜人工授精師 ※隔年開講	家畜人工授精師の資格取得を目指す。	①畜産概論 (講義) ②家畜の栄養 ③家畜の飼養管理 ④家畜の育種 ⑤関係法規 ⑥生殖器解剖 ⑦繁殖生理 ⑧精子生理	北田 紫 畜産振興課 畜産研究課 家畜保健衛生所職員	140 9.0	講義 実習	出席状況 修了試験	家畜人工授精講習会テキスト (日本家畜人工授精師協会)

			⑨種付けの理論 ⑩人工受精 ⑪家畜の飼養管理（実習） ⑫家畜の審査 ⑬生殖器解剖 ⑭発情鑑定 ⑮精液精子の検査 ⑯人工受精					
前期 夏期 休業 期間	家畜商 ※隔年開講	家畜商の資格取得を目指す。	①家畜の取引に関する法令 ②家畜の品種及び特徴 ③家畜の悪癖、機能障害及び疾病	北田 紫 畜産振興課 畜産研究課 職員	1 6 1. 0	講義	出席状況	家畜取引の知識 （日本家畜商協会）
前期	英語試験対策講座	TOEIC550点以上取得を目指す。	①進学に向けたTOEIC受験のための学習（TOEIC550点以上）	斎藤洋一郎	1 6 1. 0	講義	出席状況 学習態度	Effective Approaches to the TOEIC L&R Test（南雲堂）
前期	パソコン検定対策講座	日本情報処理検定協会が主催する情報処理技能検定試験「表計算」の合格を目指す。	①検定試験（3級）合格のための学習	藤井 貞仁	1 6 1. 0	演習	出席状況 学習態度	令和5年度問題集3・4級編
後期	危険物取扱者	危険物取扱資格取得を目指す。	①集中講義による危険物資格取得のための学習	平尾 大河	1 6 1. 0	演習	出席状況 学習態度	受験用テキスト
後期	毒物劇物取扱者	劇毒物取扱資格取得を目指す。	①集中講義による毒物劇物取扱者資格取得のための学習	植田 博昭	1 6 1. 0	演習	出席状況 学習態度	受験用テキスト
後期	農業技術の基礎	日本農業技術検定協会が実施する農業技術検定（2級）の受験にむけた対策。	①集中講義による農業技術検定（2級）の合格のための学習	服部 弘明	1 6 1. 0	講義	出席状況 学習態度	受験用テキスト
後期	農業機械実習	農作業に必要な大型特殊（農耕用限定）免許やけん引（農耕用限定）免許取得を目指す。	①トラクタおよびけん引車両の構造の理解と安全な使用法 ②道路交通法を遵守した道路路上での安全運転の方法	佐藤 泰三 各コース職員	(32) (-)	実習	出席状況 学習態度	プリント
後期	フォークリフト実習	フォークリフトの運転・操縦技術の習得を目指す。	①フォークリフトの構造の理解 ②安全な運転および操縦の技術	佐藤 泰三	(48) (-)	実習	出席状況 学習態度	プリント
後期	土壌医検定（2級）対策講座	土壌医検定（2級）試験合格を目指す。	①既出問題集による過去問対策を中心とした土壌医検定（2級）合格のための学習	植田 博昭	1 6 1. 0	講義	出席状況 学習態度	土づくりと作物生産・既出問題集（日本土壌協会）
後期	土壌医検定（3級）対策講座	土壌医検定（3級）試験合格を目指す。	①既出問題集による過去問対策を中心とした土壌医検定（3級）合格のための学習	平尾 大河	1 6 1. 0	講義	出席状況 学習態度	土壌診断と作物生育改善・既出問題集（日本土壌協会）
後期	狩猟免許対策講座	狩猟免許の取得を目指す。	①野生鳥獣の管理 ②わな猟及び第一種猟銃の免許取得について	県鳥獣対策担当 （村田 光稔）	(8) (-)	演習	出席状況	受験用テキスト

(4) 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

① 1年次生

専門教科 (栽培・飼養管理)

科目名	学習のねらい	担当教官 (補助教官)	履修時間 /単位		実務経験
農業基礎	農業と私たちの暮らしとの関わりについて学ぶとともに、農業技術の基礎を学び、農業機械や土壌肥料、施設園芸等の高度・専門的な技術習得へ発展させる基礎とする。	板東 成治 服部 弘明 佐藤 泰三	3 0	2.0	普及指導員経験
作物	水稻の品種、栽培管理法、米の利活用および麦類・大豆の品種、栽培管理概要について理解するとともに、本県の実情を把握する。	広田 年信	3 0	2.0	普及指導員経験
果樹園芸	果樹に関する基本的な技術や栽培管理について知る。	乾 千紘	3 0	2.0	普及指導員経験
野菜園芸	野菜に関する基本的な知識や栽培管理、園芸技術について知る。	小川 純一	3 0	2.0	普及指導員経験
花き園芸	花き生産の基礎となる生育・開花生理並びに基礎栽培技術・新栽培技術を習得するとともに、花き経営、花きを巡る情勢等も理解する。	富加見 正樹	3 0	2.0	普及指導員経験
畜産	畜産物を生産するための基本的な技術と本県における生産動向や畜産の最新技術情報について学ぶ。	北田 紫 井上 眞一	3 0	2.0	畜産研究業務経験 普及指導員経験
実用計算	栽培技術や経営技術に必要な各種計算方法等を学習し経営分析に活用する。	赤井 昭雄	1 6	1.0	普及指導員経験
基礎演習 (農学実験)	果実分析や各種観察等の演習を通して、農学の基礎能力の向上をめざす。バイオテクノロジーの基本的な作業管理を学ぶ。	北田 紫 中野 理子 乾 千紘 貞野 光弘 服部 弘明	2 0	1.0	畜産研究業務経験 普及指導員経験 農業大学校教員経験
基礎演習 (農業簿記)	農業経営と家計分の記帳の分離により、農業経営の現状と将来の経営計画のために農業簿記を学習する。	原田 正治	2 0	1.0	農業会議にて簿記指導経験
基礎演習 (情報処理)	パソコンのビジネスソフトである表計算・文章作成・プレゼンテーションの基本的スキルを習得する。インターネットでの検索・情報収集の方法を学ぶ。	藤井 貞仁	2 0	1.0	大手外食系企業にて人材育成プログラム、コンサルタント経験
基礎演習 (作業演習)	農作業で使用する農具の適切な使い方、農業機械の構造と適切な使用、整備と管理及びドローンの活用と操作を学ぶ。	馬場 秀樹 佐藤 泰三 藤岡 敏明 中四国クボタ	2 0	1.0	普及指導員経験 農業機械企業従事 農業大学校教員経験
農業・食品加工基礎実習	班編制により、果樹、作物・野菜、花き、土壌分析、食品加工及び畜産飼養管理について学び、進路選択やプロジェクト課題検討の参考とする。	各分野担当 畜産研究課	7 6	2.5	普及指導員経験 試験研究機関従事
卒論演習 I	プロジェクトの課題設定から試験設計にいたる進め方を学び、計画書を作成する。	村田 光稔	1 6	1.0	普及指導員経験
小 計			3 6 8	-	

専門教科 (社会・経済)

科目名	学習のねらい	担当教官 (補助教官)	履修時間 /単位		実務経験
地域農業	本県地域農業の現状や課題、今後の方向や普及指導機関による支援活動について知見を深め、地域農業の中核的役割を担う人材としての資質向上をめざす。	高度技術支援課長、各農業支援センター所長 (馬場 秀樹)	1 6	1.0	普及指導員経験

専門教科（農業生産技術コース選択）

科目名	学習のねらい	担当教官 (補助教官)	履修時間 ／単位		実務経験
農業機械学	農業機械の主な作業機や機械の構造、安全な使用について学ぶ。	佐藤 泰三	1 6	1.0	普及指導員経験
スマート農業	施設栽培等におけるスマート農業について事例をふまえながら学習する。	中野 理子	1 6	1.0	普及指導員経験
コース実習Ⅰ	農作物や家畜の栽培・飼養管理体験を通して、将来の農業との関わり型を明確にする。	農業生産技術 コース職員	1 1 4	3.5	普及指導員経験
コース実習Ⅱ	農業生産技術の深化に関するプロジェクト課題を設計し、計画作成、発表練習を行う。	農業生産技術 コース職員	3 3 0	11.0	普及指導員経験
小 計			4 7 6	—	

専門教科（6次産業ビジネスコース選択）

科目名	学習のねらい	担当教官 (補助教官)	履修時間 ／単位		実務経験
食品加工演習	六次産業化研究施設に設置された機器を利用し、実習をとおして使用方法及び加工技術を学ぶ。	庄野 久美子 吉田 理恵	1 6	1.0	普及指導員経験 農業大学校教員経験
コース実習Ⅰ	農作物や家畜の栽培・飼養管理及び加工と商品化を通して、将来の農業との関わり方を明確にする。	6次産業ビジ ネスコース職員	9 8	3.0	普及指導員経験
コース実習Ⅱ	6次産業化の深化に関するプロジェクト課題を設計し、計画作成、発表練習を行う。	6次産業ビジ ネスコース職員	3 3 0	11.0	普及指導員経験
小 計			4 4 4	—	

①2年次生

専門教科（栽培・飼養管理）

科目名	学習のねらい	担当教官 (補助教官)	履修時間 ／単位		実務経験
果樹栽培各論	我が国における主要果樹の品種特性や最新の栽培技術について学ぶ。また、本県独自の果樹栽培について、生産から流通販売までを理解する。	徳永 忠士	3 0 ①	2.0	果樹研究業務経験 普及指導員経験
野菜栽培各論	野菜の基礎的な栽培管理と本県現地における実践的な生産動向や最新技術情報について学ぶ。	山田 盛生 松村 茂	3 0 ②	2.0	普及指導員経験 農業高校教員経験
花き栽培各論	本県で栽培されている主要な花きの栽培方法について、生育相や開花調整技術等を通じて理解する。また花きの名称や主要な産地や経営面についても学ぶ。	平尾 大河	3 0 ③	2.0	農業大学校教員経験
家畜飼養衛生	畜産物の安全かつ持続的な生産を行うために、家畜飼養 畜産物利用 家畜の疾病予防および衛生対策について学び理解させる。	北田 紫 林 和徳	3 0 ④	2.0	畜産研究業務経験 普及指導員経験
特産物生産	徳島県における地域農業の伝統的な特産物等について理解を深め、これら貴重な地域資源の活用方法など幅広い知識を学習する。	高木 一文	1 6	1.0	普及指導員経験
植物生理学	植物の生理現象について、基礎的な事項を理解する。	馬場 秀樹	3 0	2.0	普及指導員経験
植物防疫学	作物を病害虫から守るため、主な病原体や害虫の生態、病虫害の症状、防除法、農薬について学ぶ。	貞野 光弘	3 0	2.0	普及指導員経験
農業気象学	農業生産における最大の制限要素である「気象」及び近年関心が高まる地球温暖化について、農業への影響を学習する。	所 洋志	1 6	1.0	普及指導員経験

高度技術演習	農業の直面する課題を集約するとともに、農林水産総合技術支援センターにおける試験研究・調査研究の現状と成果を紹介し、徳島県農業の問題点と解決策を探る。	各課研究員 (片山 環奈)	1 6	1.0	研究業務経験 普及指導員経験
卒論演習Ⅱ	プロジェクト学習における成果のまとめ方や卒業論文の書き方、発表方法等について理解を深める。	村田 光稔	3 0	2.0	普及指導員経験
卒業論文	プロジェクト研究成果を卒業論文としてまとめる。	卒論担当指導 教官	1 5 0	10.0	普及指導員経験
小 計			3 1 8	—	

①～④は選択科目

専門教科（食品・流通）

科目名	学習のねらい	担当教官 (補助教官)	履修時間 ／単位		実務経験
食の安全・安心	食品の安全性等について正しく理解する。	庄野 久美子	1 6	1.0	普及指導員経験
マーケティング論	マーケティングの概念やマーケティング活動のプロセスを学び、マーケティング的な視点による企業(経営体)の行動理解や自身の課題解決の一助とする。	所 洋志	1 6	1.0	普及指導員経験
小 計			3 2	—	

専門教科（経営）

科目名	学習のねらい	担当教官 (補助教官)	履修時間 ／単位		実務経験
経営戦略論	経営や起業に際して必要となる知識や感覚について講義・演習を通して学習する。	長尾 辰彦	1 6	1.0	中小企業診断士
農業経営と組織論	農業経営を実践するために必要な基礎知識や農業・農村の中で農業者がかかわる組織の特徴や活動について、県内の事例をふまえながら学ぶ。	新居 智	3 0	2.0	普及指導員経験
小 計			4 6	—	

専門教科（社会・経済）

科目名	学習のねらい	担当教官 (補助教官)	履修時間 ／単位		実務経験
環境と農業	環境の基本的な現状と問題を学習すると共に、環境と共存する農業のあり方について学習する。併せて有機農業や環境保全型農業について学ぶ。	村田 光稔	3 0	2.0	普及指導員経験
小 計			3 0	—	

専門教科（農業生産技術コース選択）

科目名	学習のねらい	担当教官 (補助教官)	履修時間 ／単位		実務経験
土壌肥料学	農作物の生育に必要な土壌環境、生物生育と土壌の化学性、物理性、生物性の関連、農作物の養分吸収及び施肥設計について学習する。	井上 眞一	1 6	1.0	普及指導員経験
GAP演習	GAPの基本的な考え方から県GAP、JGAP、ASIAGAP、GLOBALGAPを幅広く演習する。	赤井 昭雄	1 6	1.0	普及指導員経験
農業巡見	県内の優良経営農家・法人、生産・加工施設、直売	農業生産技術	1 6	1.0	普及指導員経験

	所等の見学を通してその生産・経営状況、取り組み状況について学ぶ。	コース担当			農業大学校教員経験
コース実習Ⅲ	計画に沿って互いに協力し合いながらプロジェクトを粘り強く実践する。	農業生産技術コース担当	262	8.5	普及指導員経験 農業大学校教員経験
コース実習Ⅳ	計画に沿って農作物・家畜等を栽培管理・調査研究を通して、社会で必要な問題解決能力を養成する。	農業生産技術コース担当	268	8.5	普及指導員経験 農業大学校教員経験
小 計			578	—	

専門教科（6次産業ビジネスコース選択）

科目名	学習のねらい	担当教官 (補助教官)	履修時間 ／単位		実務経験
6次産業巡見	県内の優良経営農家・法人、生産・加工施設、直売所等の見学を通して学ぶ。	6次産業ビジネスコース担当	16	1.0	普及指導員経験
コース実習Ⅲ	計画に沿って互いに協力し合いながらプロジェクトを粘り強く実践する。	6次産業ビジネスコース担当	230	7.5	普及指導員経験
コース実習Ⅳ	計画に沿って農作物栽培管理、加工・商品化を通して、社会で必要な問題解決能力を養成する。	6次産業ビジネスコース担当	268	8.5	普及指導員経験
小 計			514	—	

実務経験のある教員等による授業科目の単位時間数

1年	栽培・飼養	社会・経済	専門教科 (コース別)	合計
農業生産技術コース	368	16	476	860
6次産業ビジネスコース			444	828

2年	栽培・飼養	食品・流通	経営	社会・経済	専門教科 (コース別)	合計
農業生産技術コース	318	32	46	30	578	1,004
6次産業ビジネスコース					514	940

2年間	
農業生産技術コース	1,864
6次産業ビジネスコース	1,768